

KATSURA
LPガス警報器
しんらい
取扱説明書(保証書付)

LPガス警報器「しんらい」をお取付けいただきありがとうございます。この取扱説明書では、LPガス警報器「しんらい」の取扱い方を説明しています。ご使用前に、必ずお読みいただき正しくお取扱いください。本取扱説明書は、取付け後もお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

- この警報器はLPガスを検知して警報を発するLPガスの爆発事故防止用の警報器です。ガスもれの未然防止やガスもれによる損害防止を保障する装置ではありません。
- 不完全燃焼及び酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
- 本書を紛失された場合は、販売店までお問い合わせください。



もくじ

1. 使用上の注意	1
2. 各部の名称とはたらき	3
3. 警報器の機能について	5
4. 使用方法と作動説明	10
5. 警報音が「鳴った」ときの処置	11
6. 点検方法	13
7. 異常と思ったら場合の処置	15
8. 保証	15
9. 仕様	16
10. 廃棄処理について	17
11. 取付位置	18
12. 取付方法	19

■警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ

1. 使用上の注意

警報器を正しく使用していただくため、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、この取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
- 警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
- 「禁止」事項を表しています。
- 「必ず行う」事項を表しています。

- 警告**
 - 分解や改造はしないでください。正常に作動しない恐れがあります。
 - 電源コードを傷つけない、重い物を置かないでください。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。
 - ガス検知部をふさいだり、警報器の前に物を置いたり、取付けたりしないでください。警報しなかったり、警報遅れの原因となります。
 - 落下させたり、衝撃を加えないでください。故障の原因となります。

【予備コンセント付電源プラグを使用する場合】

警報器以外の電気製品を同時に使用する場合は、警報器のプラグに付属している予備コンセントをご利用ください。
※警報器の型式によっては予備コンセントが無いタイプもあります。詳しくは、「9.仕様」を参照してください。

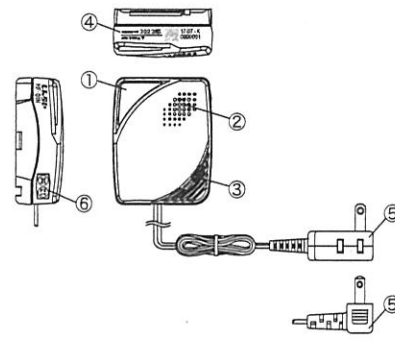
- 警告**
 - 接続した他の電気製品のプラグを抜く時は、大きな力をかけないでください。プラグ部が破損する場合があります。
 - 1490Wを超える電気製品を接続しないでください。1490Wを超えると火災の恐れがあります。
 - 電源プラグは時々お手入れしてください。たまったホコリに湿気が加わり、発火・焼損の恐れがあります。電源プラグのゴミやホコリは乾いた布で取除いてください。
 - 警報器以外の電化製品を接続する場合は、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発火・破損の恐れがあります。

- 注意**
 - この警報器はLPガス専用です。LPガス以外には使用しないでください。
 - 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。
 - 警告表示(「警報器が鳴ったらステッカー」をよくお読みのうえ、必ず目につく場所に警告表示を貼ってください。また、警告表示に緊急時の連絡先の名称・電話番号が記入されているか確かめてください。

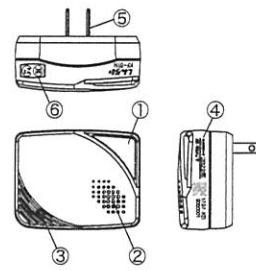
お願い
転居する場合は、必ず販売店に連絡し、警報器の扱いについて確認してください。

2. 各部の名称とはたらき

[KF-01N]



[KF-01N(D)]



※各印字表示の位置はガス販売事業者によって異なる場合があります。

- ①ランプ及び点検/警報停止スイッチ
 - ・通常は白色で点灯しています。(電源/常夜灯)
 - ・ガスを検知すると、赤色で点滅します。
 - ・故障しているときは、白色で点滅します。
 - ・点検/警報停止スイッチを押すことにより、点検や警報停止などができます。
- ②警報ブザー
 - ・ガスを検知すると鳴動します。
- ③ガス検知部(点検口)
 - ・ガスを検知します。
 - ・点検ガスをかけてチェックします。
- ④交換期限表示
 - ・警報器の交換期限が表示されています。
- ⑤電源プラグ
 - ・コンセントに差し込み電源を供給します。
 - ・電源プラグには、予備コンセント付き、予備コンセント無し、本体一体型の3種類があります。詳しくは、「9.仕様」を参照してください。
 - ・予備コンセント付電源プラグは、最大1490Wまでの他の電気器具と共用できます。
- ⑥検定合格証

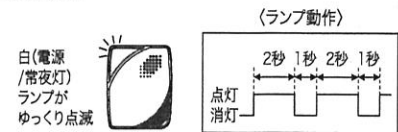
3. 警報器の機能について

ガス警報機能
警報器がLPガスのもれを検知した場合に警報ランプの点滅と警報音でお知らせします。詳しくは、「4.使用方法と作動説明」を参照してください。

鳴りやみタイミングお知らせ機能
作動点検後にガス検知部周囲のガス濃度が低くなってると赤(警報)ランプの点滅及び警報音の鳴動間隔が長くなり、警報が鳴りやみタイミングをお知らせします。※ガス検知部周囲のガス濃度が急激に低下した場合は、鳴りやみタイミングお知らせ機能が作動しない場合があります。

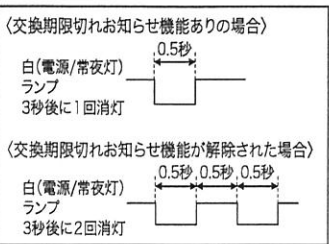
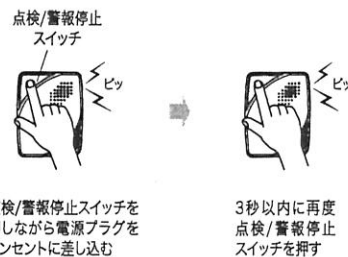
スイッチ点検機能
点検/警報停止スイッチを押すことで、警報音と赤(警報)ランプの動作確認ができます。詳しくは、「6.点検方法」を参照してください。

交換期限切れお知らせ機能
「警報器の交換期限が過ぎたときは」
警報器の交換期限が過ぎると白(電源/常夜灯)ランプが下図のようにゆっくり点滅します。警報器が正常に作動しない恐れがありますので、お求めの販売店に連絡し、警報器を交換してください。



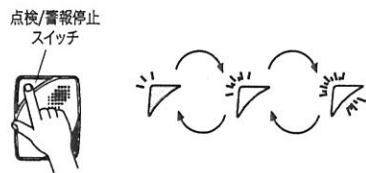
(交換期限切れお知らせ機能を解除することもできます)

- ①点検/警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。受付音が「ピッ」と鳴ります。
 - ②3秒以内にもう一度、点検/警報停止スイッチを押してください。受付音が「ピッ」と鳴ります。
 - ③電源プラグを差し込んでから3秒後に白(電源/常夜灯)ランプが2回消灯し、交換期限切れお知らせ機能が解除されます。
- ※出荷時は交換期限切れお知らせ機能の設定は「あり」となっています。
※交換期限切れお知らせ機能の切替は何度でも可能です。
お客様自身で交換期限切れお知らせ機能を解除された場合は、お求めの販売店に解除した旨をお伝えください。
※長時間コンセントが抜かれていた場合、交換期限切れお知らせ機能が延びることがあります。



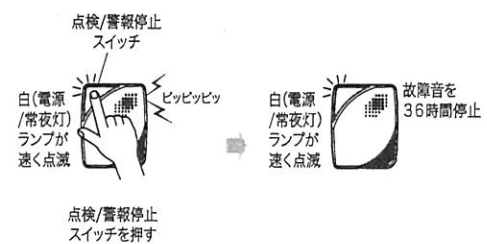
白(電源/常夜灯)ランプ明るさ調整機能

監視中に点検/警報停止スイッチを1回(3秒未満)押すたびに、白(電源/常夜灯)ランプの明るさを調整できます。明るさは、3段階で変化します。お好みの明るさに合わせてお使いください。
※調整した明るさは電源投入から10分後に設定が保存され、10分以降は設定を変更した時点で保存されます。



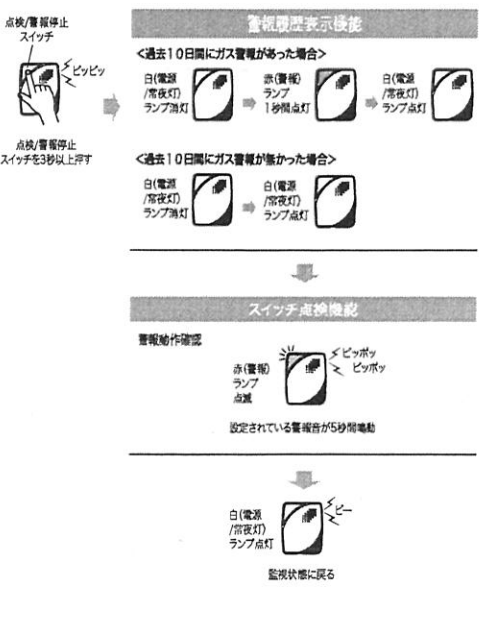
故障検出機能

故障が発生すると、白(電源/常夜灯)ランプが速く点滅し、約1分毎に「ピッピッ」と故障音が鳴ります。点検/警報停止スイッチを押すと、故障音のみ36時間停止することができます。36時間経過後でも故障状態が継続している場合は、再度故障音が鳴ります。※販売店に連絡してください。故障状態では、ガスを検知できず警報しない場合があります。



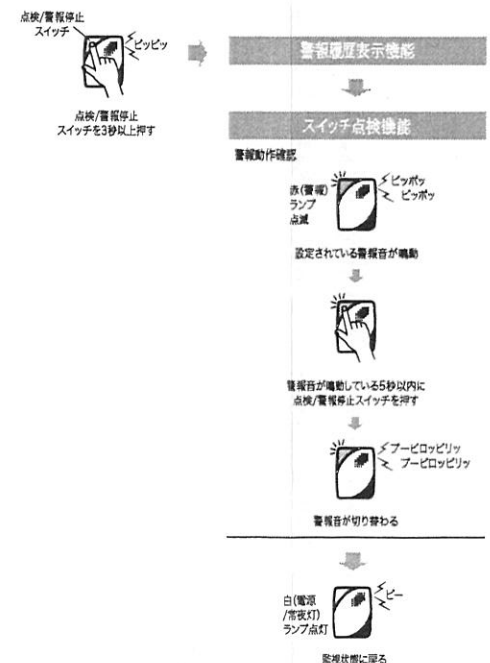
警報履歴表示機能

過去10日間にガス警報があったことを確認することができます。監視時に点検/警報停止スイッチを3秒以上(5秒未満)押すと「ビッピッ」と鳴動し、白(電源/常夜灯)ランプが消灯した後、過去10日間にガス警報があった場合は赤(警報)ランプが約1秒間点灯します。ガス警報が無かった場合、もしくはガス発生から10日以上経過していた場合は、赤(警報)ランプは点灯しません。
※警報履歴表示後に、スイッチ点検機能へと移行します。詳しくは、「6-3 点検/警報停止スイッチによる点検」を参照してください。



警報音切り替え機能

警報音と赤(警報)ランプの動作確認中に点検/警報停止スイッチを押すことで、ガスもれ警報音を切り替えることができます。点検/警報停止スイッチを押す度に「ビッピッピッ」「ブーピロピロピロ」及び「ブーピロピロピッ」と切り替わりますので、お好みの警報音を選択してお使いください。工場出荷時は「ビッピッピッ」となっています。



販売店名
(連絡先・住所・電話・FAXなどを記入してください。)

発売元: 株式会社桂精機製作所
本社/〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1(アーパンスクエア横浜 8F)
電話(045)461-2334(代表)

製造元: 矢崎エナジーシステム株式会社
天竜工場/〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南庭島23番地
電話(053)925-4111

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

(キリトリ線)

LPガス警報器 (家庭用)
保証書
品名: しんらい KF-01N, KF-01N(D)
型式: YF-005N, YF-005N(D)

このたびはLPガス警報器をお求めいただきありがとうございます。この製品は高圧ガス保安協会検定に合格した警報器です。従って正常な使用状態では故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。次の要領で下記のことが検出または交換いたしました。
・保証期間 警報器本体に表示されている期間内。
・保証適用 取扱説明書に基づき正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。
・保証適用除外 下記に記載してある事項の場合。
・保守点検 警報器の異常などのお申し出がございましたら無償で次の保守点検をいたします。
(1)点検ガスまたは点検具(チェッカー)を使用した作動テスト。
(2)異常発生時の有無の確認(聴取による)。
(3)設置場所の適否についてのチェック。

(実施者) 販売者	販売元: 株式会社桂精機製作所 本社/〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1(アーパンスクエア横浜 8F) 電話(045)461-2334(代表)
(保証元) 発売元 及び 製造元	販売元: 株式会社桂精機製作所 本社/〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1(アーパンスクエア横浜 8F) 電話(045)461-2334(代表)

(保証の適用除外)
この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は無償となります。
(1)使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。
(2)火災、天災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気などの不可抗力による故障または損傷。
(3)取付位置が限外、高温多湿など著しく不適当な場所及び浴室に取付けた場合。
(4)LPガス以外のガス、水や凍りなどの液体、動物物による故障または損傷。
(5)その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃などによる故障または損傷。
(6)本書の提示がない場合、ただし、本書は日本国内のみ有効です。
(7)本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えた場合。
(8)その他製造元の責任によらない汚損、故障または損傷。
(9)高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合。

(お願い)
(1)警報器の作動確認は、付属の点検ガスで点検してください。
(2)本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
(3)交換期限が過ぎたものは保証いたしません。
警報器は安全を守るためのものですので、必ず新しいものとお取替えください。
ご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料点検・交換対応のために利用させていただきます。この保証書はお客さまの民法または商法上の権利を制限するものではありません。また、警報器についてご不明の場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

お客さま	お名前	TEL
	ご住所 (〒)	

(キリトリ線)

4. 使用方法と作動説明

4-1 始動

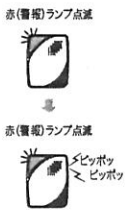
- ① 警報器の電源プラグをコンセントに差し込む。
- ② 3秒後に白(電源/常夜灯)ランプが1回もしくは2回点灯する。
交換期限切れお知らせ機能の設定を表示します。
- ③ 交換期限切れお知らせ機能の設定表示後、監視状態に入る。



〔注意〕
※警報器の周囲にガスが存在していた場合や長期間通電しないまま放置されていた場合には、電源投入後鳴動することがあります。
※電源投入後、1分たっても鳴りやまなければ故障が考えられますので、お求めの販売店に連絡してください。

4-2 ガスもれを検知した場合

- ① もれたガスの濃度が警報設定値(LPガスの爆発下限の1/100~1/4)に達すると、赤(警報)ランプが点滅し、警報音が鳴り始めます。



- ② ガスが警報設定値以下になると警報音が鳴りやんで白(電源/常夜灯)ランプが点灯し監視状態に戻ります。

5. 警報音が“鳴った”ときの処置

5-1 ガスもれにより警報音が鳴った場合

警報音が鳴り、赤(警報)ランプが点滅している場合は、次の手順で処置してください。

- ① ガス栓や器具栓を閉める。
燃焼器具のガス栓や器具栓を閉め、ガスの元栓を閉めてください。
- ② 窓を開けて換気する。
窓やドアを開けて自然換気してください。ガスが無くなれば、警報音が停止します。
- ③ 販売店に連絡する。
警報音が鳴りやまない場合は、ただちに販売店に連絡してください。



おねがい

警報音が鳴っている間は、警報器の電源プラグを抜かないでください。



△ 危険

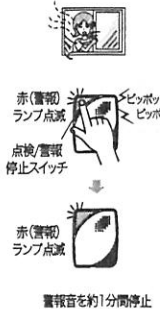
警報音が鳴っている間は、下記の事項を必ず守ってください。
火や火花により、もれたガスに引火して爆発する危険があります。

- マッチやライターなどの火気は使用しないでください。
- 電灯のスイッチをON/OFFしないでください。
- 警報器の電源プラグを引き抜かないでください。
- 扇風機や換気扇は使用しないでください。

5-2 ガスもれが無いのに警報音が鳴った場合

スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどで警報音が鳴り、赤(警報)ランプが点滅している場合は、次の手順で処置してください。

- ① 窓を開けて換気する。
窓やドアを開けて自然換気してください。
- ② 警報器周囲のガス濃度が規定値以下になると赤(警報)ランプの点滅や警報音が止まる。
※警報の原因が分かっている場合は、電源プラグを抜かず点検/警報停止スイッチを押してください。約1分間警報音を停止することができます。
※赤(警報)ランプの点滅は止まりません。



おねがい

警報音が鳴っている間は、警報器の電源プラグを抜かないでください。



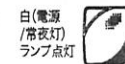
△ 注意

警報音を停止しても警報器周囲にガスが残っている場合は、再度警報音が鳴ります。また、停止中に警報器周囲のガス濃度が上昇した場合は、停止を中断して再度警報音が鳴り始めます。
この場合は再度点検/警報停止スイッチを押しても警報音は止まりません。

6. 点検方法

6-1 日常点検

日常点検は、白(電源/常夜灯)ランプが点灯していることを確認してください。



6-2 作動点検

- ① 付属の点検ガスのキャップを開け、点検口にあててください。
- ② 点検ガスの腹部を指でつまんでガスを押し出してください。
- ③ ガスを検知すると赤(警報)ランプが点滅し警報音が鳴ります。
- ④ 警報音が鳴れば警報器は正常に作動しています。



※ガスをかけすぎた場合など、警報音を早く停止させたい場合は、作動点検確認後、点検/警報停止スイッチを押してください。
警報音を約1分間停止することができます。
※1ヶ月に1度、点検ガスによる作動点検を行ってください。
点検するにあたっては、販売店に相談のうえ実施してください。

【点検ガスの取扱いについて】

- ① 点検ガスは揮発性ですから、ご使用後は「パチッ」と音がするまでキャップをかたく閉めてください。
- ② 点検ガス容器内の固形物が無くなりましたら販売店より買い求めください。

△ 注意

- 付属の点検ガス以外のもの(ガスライター、ライター型点検ガスなど)は、絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- 小さなお子さまのいるご家庭では安全のために、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 直射日光、高温、火気をさけて保管してください。

■ 施工される方へ

11. 取付位置

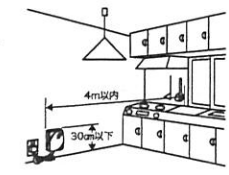
取付位置の選定はお客さまとよく相談してから行ってください。

△ 警告

- 取付けは、販売店が行いますので、ご自分で取付けや移動は行わないでください。

【正しい取付け場所について】

LPガスは空気より重いので、もれたガスは下にたまりやすくなります。
床から高さ30cm以下、遠い燃焼器具の壁から水平距離4m以内でガスのたまりやすい所に取付けてください。
※床置き、逆さ付けをしないでください。



【取付けはいけない場所について】

△ 警告

次のところには取付けしないでください。故障や警報遅れの原因になります。

- 風とおしのよい場所。振動する場所。
- 水のかかる場所。水滴のつく場所。
- 煮物の汁や油がかりやすい場所。
- 台所設備などでさえぎられる場所。
- 浴室用ではありません。電気事業法で禁止されています。

6-3 点検/警報停止スイッチによる点検

警報動作確認

監視時に点検/警報停止スイッチを3秒以上押しすることで警報表示、警報音を確認することができます。
「ピッピッ」と鳴動し、警報履歴表示の動作後、赤(警報)ランプが点滅し、設定されている警報音が約5秒間鳴動します。
※警報履歴表示機能を備えています。
詳しくは、「3. 警報器の機能について」を参照してください。

7. 異常と思った場合の処置

警報器に異常がある場合は、次の処置をしてください。
処置をしても異常がある場合は、販売店に連絡してください。

症状	原因
白(電源/常夜灯)ランプが点灯しない。	● 電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。 ● 停電していませんか。 ● 電源ブレーカーが切れていませんか。
点検ガスをかけても警報音が鳴らない。	● 電源プラグをコンセントに差し込んでから10秒以内ではありませんか。 ● 点検口をまらかえていませんか。 ● 点検ガス容器内の固形物(青色)がありますか。
ガスがもれていないのに警報音が鳴った。	● 近くでヘアスプレーや殺虫剤、シンナーなどを使用しませんでしたか。 ● 酒、みりん、ワインなどアルコールの濃い蒸気がかかりませんでしたか。 ● 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。 ● 警報器の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
白(電源/常夜灯)ランプが長い点滅をし、1分毎に「ピッピッ」と警報音が鳴っている。	● 警報器の故障をお知らせしています。販売店に連絡してください。 点検/警報停止スイッチを押すと警報音を約36時間止めることができます。
白(電源/常夜灯)ランプがゆっくり点滅している。	● 警報器の交換期限をお知らせしています。販売店に連絡して新しい警報器に交換してください。

8. 保証

- 保証期間は警報器に表示されている交換期限内です。
- 本取扱説明書に基づく使用状態で、この保証期間内に万が一異常が認められた場合には、無償で「点検または交換」いたします。
- 保証に基づく点検を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みください。
- お申しつけの際は、保証書を提示していただきますので大切に保管ください。
- 警報器は安全機器であり、この期間を過ぎたものは、必ず新しいものと取替えてください。

9. 仕様

	YF-005N (KF-01N)	YF-005N(S) (KF-01N(S))	YF-005N(D) (KF-01N(D))
電源	定格電圧 AC100V、定格周波数 50/60Hz共用		
消費電力	監視時 約0.8W 警報時 約0.9W		
警報ガス濃度	LPガスの爆発下限 ^{※1} の1/100~1/4		
応答速度	30秒以内		
警報方式	ブザー音(自動復帰式)		
使用温度範囲	-10℃~+40℃		
警報音量	70dB/m以上		
取付方法	取付板による壁掛け式	コンセントへの差し込み方式	
電源コード長	2.5m	0.35m	—
電源プラグ	予備コンセント付き	予備コンセント無し	本体一体型
寸法 (高さ×幅×奥行)	78×62×29.5 mm		62×78×33.5 mm
質量	約195g	約125g	約115g

※1: 爆発は、空気とガスが一定範囲で混合した場合に起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といひ、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限といひます。

【付属品】

- 取付木ネジ^{※2} (1本)
- 点検ガス (1コ)
- 取付木ネジ^{※2} (2本)
- 取付板/両面接着テープ^{※2} (各1コ)
- コード振れ止め^{※2} (1コ)
- 警報器が鳴ったらステッカー (1枚)
- 取扱説明書(保証書付) (1部)

※2: KF-01N(D)には取付木ネジ、コード振れ止め、取付板、両面接着テープは付属しません。

10. 廃棄処理について

● 交換期限を超過して交換した警報器の廃棄処理

一般廃棄物として処理を行わないで、産業廃棄物として処理してください。(一般廃棄物として燃焼処理した場合、有害ガスが発生する恐れがある材料が含まれています)

● 使用済みの点検ガスの廃棄処理

洗浄後に廃棄プラスチックとして処理してください。
(アルコールは可燃性ガスのため、全て使用して廃棄するように願います)

12. 取付方法

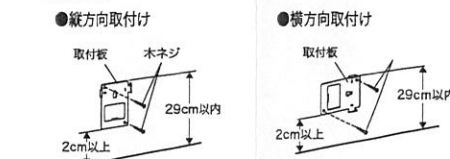
【KF-01Nの場合】

本警報器は縦・横方向どちらでも取付けが可能です。

① 取付板の取付け

【木質壁・コンクリート壁の場合】

取付板を付属の木ネジまたはピン(別売り)で壁面に取付けてください。その際は、床面から2cm以上離して取付けてください。(警報器が床につかえるため)
※コンクリート壁に取付ける場合は、カールプラグを打ち込んで木ネジを使用してください。



【石こうボードの場合】

壁面に取付板を押し当て、ピン(別売り)を壁の向きで、斜めに差し込んでください。その際、市販の石こうボード用のピン差し込み工具またはドライバーの柄の堅いところなどでピンの頭を押しつけて根元まで差し込んでください。
※ピンは垂直に差し込まないでください。取付板が抜けやすくなる場合があります。



② 警報器の取付け

電源コードは上下の2方向に出すことができます。上から出す場合は、本体裏面の溝に電源コードをはめてください。警報器を取付板に確実にはめ込んでください。



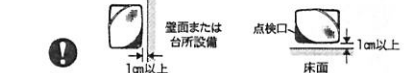
③ 電源コードの固定

電源コードを付属のコード振れ止めに止めてください。



△ 警告

壁面や床面及び台所設備の端より、警報器を1cm以上離して取付けてください。警報が遅れたり、誤報の原因になります。



△ 注意

上下を正しく取付けてください。
横方向取付けの場合、点検口が床側になるように取付けてください。
逆に取付けた場合、水や埃が入りやすくなり、誤報や漏電による発火の原因になります。



電源コードはステップルまたは釘などで固定しないでください。
電気設備技術基準で禁止されています。



【KF-01N(D)の場合】

① 警報器の取付け

警報器本体をコンセントに差し込みます。
警報器背面に表示されている矢印の向きに合わせて取付けてください。



△ 注意

電源プラグは確実に差し込んでください。



上下を正しく取付けてください。
逆に取付けた場合、水や埃が入りやすくなり、誤報や漏電による発火の原因になります。

